

2021 年度地域連携室活動計画

2020 年度に関しては、コロナウィルス感染拡大防止の観点から、地域連携室の活動が十分に展開できる状況ではない環境であった。しかしながら 2021 年度は、感染対策を十分に図りながら、前年度同様に「地域に根差し、地域とともに歩む大学、大学短期大学づくり」の一環として地域貢献活動を促進し、学生募集にも貢献していくために、以下のことに取り組んで行きたい。また、コロナ禍のなかではあるが、大学の方針や感染対策マニュアル等を遵守して、安全第一並びに感染防止に十分注意を図りながら、実施可能なことを展開する。

	これまでの取り組みや継続実施	課 題	計 画
A 地 域 貢 献 活 動 実 施 の た め の 環 境	1. 2016 年 8 月地域連携室発足にあたり、従来の地域貢献活動について関係部局から出されることが多かった意見の集約やインシデント事例の検討などにより、従前の起案文書決裁システムよりスムーズな承認を得ることができるシステムを構築 2. ガイドラインによる申請、報告などシステムを整備 (2016) 3. 地域貢献活動交流会による経験交流 (2016) 4. キャッチコピー、イメージキャラクターの設置 (2017) 5. 北九州市との包括連携協定の締結 (2017) 6. 九州歯科大学と西南女学院大学との地域貢献活動における連携協力に関する協定書締結 (2017) 7. 地域貢献活動が授業に重なる場合の取扱, チャ	1. 学生が地域貢献活動の準備等を行うための地域活動室 (要ラボ) のさらなる充実 2. 地域貢献活動実施の学生, 教職員との意見交換が不十分であり, 運営に反映できていない部分がある (1) 地域貢献活動実施教職員との意見交換の場である地域連携協議会を実施できていない (2) 意見集約が室員任せになっている (3) 地域貢献活動をガイドラインや申し合わせに沿って実施することのメリットが伝わっていない場合がある (4) 地域貢献活動交流会や地域懇談会	1. 地域活動室 (要ラボ) の物質的と機能的のさらなる充実 2. 地域連携協議会の開催についての検討 (未開催) 3. 地域貢献活動日の設定について関係部署と協議することの検討

<p>整備に関する事項</p>	<p>ペルと重なる場合の特例措置 (2017)</p> <p>8. 助成金の運用 (2017)</p> <p>9. 申請書の修正 (2017)</p> <p>10. 『地域活動論叢』刊行 (2017), ホームページ掲載 (2018)</p> <p>11. 地域活動室 (要ラボ) の設置 (2018)</p> <p>12. 地域活動論叢への報告, 講演録等掲載 (2017)</p> <p>13. 地域貢献活動が授業に重なる場合の取扱の検討 (2018)</p> <p>14. 地域連携室の活動の一部に対して、SDGs の導入 (2020 年)</p>	<p>への参加 (任意) にメリットを感じて頂けていない場合がある</p> <p>3. 地域貢献活動日の設定、及び講義等に重なる場合の取り扱いについての検討が残されている</p> <p>4. コロナ禍における感染症予防対策について</p>	
<p>B 地域連携室の組織強化と</p>	<p>1. NPO と学生の交流会 (2016)</p> <p>2. フードドライブキャンペーンへの参加 (2017)</p> <p>3. 地域連携室アドバイザー石丸美奈子様の就任 (2017)</p> <p>4. 地域連携室スタッフ (アルバイト) の配置 (2017)</p> <p>5. 女性活躍ワーキンググループの組織と運営 (2017)</p> <p>6. 子ども・子育て支援ワーキンググループの組織と運営 (2017)</p> <p>7. 地域連携室学生スタッフの公募 (2018)</p> <p>8. 地域連携室学生スタッフの登録開始 (2018)</p> <p>9. 地域連携室活動と 100 周年事業とのコラボレーション (2019)</p>	<p>1. 室員の一部や地域連携室スタッフに負担がかかりやすい</p> <p>2. 学生スタッフが主体的に活動できるよう活動支援を継続して行う</p> <p>3. 地域連携室スタッフの人員配置 (増員や継続)</p> <p>4. コロナ禍にて、活動の制限があり、実施できていない活動へサポート</p>	<p>1. 学生スタッフの継続した育成と呼びかけ、活動内容の相談と活動支援, 活動の場の充実</p> <p>2. 独自の活動 (ワーキンググループ) の支援</p> <p>円滑かつ継続的に取り組めるようニーズを把握し, 環境整備を行う。</p> <p><b>(1)子ども子育て WG の子育て支援の拠点作りの検討 (従来の子育て支援事業の運営のバックアップ)</b></p>

活性化に関する事項			(2) 女性活躍WGの音楽イベント（讚美歌コーラスイベントを含む）の開催
C 連携活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「高齢者支援学Ⅰ」の開講と評価（2017）</li> <li>2. 独自のCOC+講演会（江川，関谷講演会）の実施（2017）</li> <li>3. 3大学連携のCOC+講演会（久野講演会）の実施（2017）</li> <li>4. 独自のCOC+講演会（わたせせいぞろ講演会）の実施（2018）</li> <li>5. 兵庫県佐治視察実施</li> <li>6. 市民カレッジの学内開催と講師派遣（2018）</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コロナ禍において活動に制限がある</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 独自の講演会や視察に関しては、必要性を十分吟味して実施する 大学連携の公開講座については大学として協力する</li> <li>2. 地域連携室スタッフによる、活動の拠点のコンセプトの検討のための、先進連携活動視察の実施の検討</li> <li>3. 地域連携室主催の独自の講演会開催の検討</li> </ol>
D 広報活	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. キャッチコピー，イメージキャラクターの設置（2017）</li> <li>2. パンフレットの作成（2017）</li> <li>3. ホームページとブログの開設，運用（2017）</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学生スタッフの育成</li> <li>2. 要ちゃんTシャツの保管管理</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学生スタッフによるパンフレット，クリアファイル以外のグッズ作製の検討及び広報活動</li> </ol>

動	<ul style="list-style-type: none"> <li>4. オープンキャンパスでの広報 (2017)</li> <li>5. クリアファイルの作成 (2018)</li> <li>6. 学生スタッフの発案から要ちゃんTシャツ作成 (2018)</li> <li>7. 学生スタッフの大学祭での活動(2018)</li> <li>8. メモ帳の作成 (2019)</li> <li>9. 小中学生向けに西南女学院大学を紹介するパンフレットの作成 (2020)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>2. SDGs 推進に向けた広報活動</li> <li>3. キャラクターグッズの作製による広報活動</li> </ul>
E そ の 他			<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 地域貢献活動のイメージキャラクター 要 (かなめ) ちゃんの商標登録について</li> <li>2. 大学公式キャラクターである、地域貢献活動のイメージキャラクター 要 (かなめ) ちゃんの、地域連携室での取り扱いについて</li> </ul>